

群馬県連国保ハイキングに 参加して

事務局 高橋 真陽留

開催日 令和元年10月5日
開催場所 わたらせ渓谷鉄道

令和元年10月5日(土)、群馬県連国保健康づくりハイキングが行われ、和久井理事長、大塚副理事長、本塚専務理事、事務局2名で参加させていただきました。今回のハイキングは、わたらせ渓谷鉄道の廃線跡を散策するコースと、足尾銅山観光コースの2つです。私は廃線跡のハイキングコースに参加しました。当日は、前橋駅、高崎駅、大間々駅の3ヶ所よりバスにて間藤駅に集合しました。



開会式では、少し離れた森林に猿が走り回るのが見えて、皆さん目が釘付けに。開始早々に自然を感じさせる出来事に胸躍らせつつ準備体操をした後、それぞれのコースに分かれて出発です。

昭和62年以降使われず廃線となった間藤～足尾本山駅の区間は、普段立ち入り禁止となっていますが、安全確保のため、係員さん同行の下、散策することができました。一般道から松木街道踏切に入り、線路跡を踏みしめ第二松木川橋梁へ。レールは錆びたところがありつつも、しっかりと先まで続いていました。河川の上では、線路の端にかけられた鉄板の上を渡るのですが、足場が不安定でヒヤヒヤするところもありました。けれども、終始係員さんが声掛けや見守りをしてくださって、無事渡りきることができました。

向間藤トンネルに入ると、懐中電灯の灯りがなくとも見えにくい真っ暗闇。そんな中をガイドさんの説明を聞きながら進んでいきます。トンネルを出て少し進むと、今度は向赤倉トンネルが見えます。その手前にある手動の信号機に心惹かれました。操作のためのワイヤーも線路脇に残っており、滅多に見られないひと昔前の信号機に皆カメラを向けて盛り上がりました。

その後、一般道から間藤駅に戻り、列車に乗って水沼駅へ。ホーム内にある水沼駅温泉センターにて昼食、自由時間となりました。バス出発の午後3時まで時間に余裕があったので、私は近くに曼珠沙華が咲くスポットがあると聞き行ってみました。満開には少し時期が遅かったのですが、木漏れ日の中、一面に咲き誇る赤い絨毯のような光景に圧倒されました。

帰り際、記念に駅名が書いてある非売品のキーホルダーをいただいたのも嬉しく、日頃滅多に長い距離を歩くことがないので、清々しい気持ちを味わいながら大満足の中での解散となりました。

最後に、群馬県連国保役員の皆様、事務局の皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。普段はできない貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

